

# 自己点検・評価報告書

(平成29年度)

平成30年5月報告

名古屋美容専門学校

## 1. (1) 名古屋美容専門学校教育理念

美容に必要な基礎教育と専門的実践教育を行い、豊かな知性と誠実な心を持ち、社会に貢献できる人材を育成する。

### (2) 名古屋美容専門学校学則

## 第 1 章 総 則

(目的)

第3条 本校は、教育基本法に則り、学校教育法に従い、美容に必要な基礎教育と専門的実践教育を行い、豊かな知性と誠実な心を持ち、社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

### (1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
a 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④ 3 2 1
b 学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
c 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
d 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④ 3 2 1
e 学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

<現状>

a, d: 本校の教育理念・教育目標・教育方針・アドミッションポリシーはホームページ、学生募集パンフレットで開示している。入学生に対しては学生ハンドブックに記載し、入学前説明会及び初日オリエンテーションで周知している。

b: 単に国家資格を取らせるだけではなく、キャリアデザイン・コミュニケーションなどの授業、業界の方々との接点を多く設け、職業観の醸成に力を入れている。

c, e: 少子高齢化・2018年問題を目前に、美容師としての高い志を持った学生や、サロンに支持される学校であるべく、教育の質の向上に注力している。

<課題、今後の方策、特記事項>

教育の質の向上に、教職員の質の向上は不可欠である。専任教員は学級/学年運営・学習指導・生活進路指導に注力し、国家試験以外の専門スキルについては、現役美容師の力を十分に活用する仕組みの構築を始め、部分的には整備が進んでいる。

### (2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
a 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
b 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
c 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また有効に機能しているか	④ 3 2 1
d 人事、給与に関する規定等は整備されているか	④ 3 2 1
e 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1

f 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
g 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
h 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

<現状>

a~f: 理事会で意思決定した法人の運営方針、事業計画に基づき、本校の中長期計画や事業計画に基づいて学校運営を実施している。また、学校運営を行うための諸規程や諸規則については整備しており、適切に運営している。

g: シラバスはホームページ上で公開している。保護者に対しては授業参観・メルマガ配信・学級新聞発行を定期的に行っている。

h: 履修簿をデータ化した。

<課題、今後の方策、特記事項>

・専修学校管理システムの導入は見送ることとなった。学籍簿のデータ化は平成29年度に行った。ただし、学籍簿のデータ化は行ったが、成績の反映などに改良が必要。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
a 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 2 1
b 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 3 2 1
c 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1
d キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 3 2 1
e 関連分野における実践的な職業教育(産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4 3 2 1
f 授業評価の実施・評価体制はあるか	4 3 2 1
g 職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 2 1
h 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確化になっているか	4 3 2 1
i 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 3 2 1
j 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 3 2 1
k 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4 3 2 1
l 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 2 1
m 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 2 1

<現状>

a~c: 各教科の到達目標はシラバスに示し授業を進めている。内規も整備済みであり平成28年度からシラバス、成績評価、単位認定などを学生ハンドブックに記載し、学生に告知している。

d・g: 平成27年度から学校関係者評価を実施し、委員の意見を教育に反映している。

e: 体系的に位置付けている。

f: 教員の授業力を高めるため、学生による授業改善アンケート、教員による授業評価、模擬授業研修会を行っている。

h: 明確にしており、学生ハンドブックに記載し学生に開示している。

i~k: 随時改善しているが十分とは言えない。

l, m: 教員研修は計画的に行っている。

<課題、今後の方策、特記事項>

・資格取得などに関する指導システムについては以下を整備する。

①推奨検定の一覧表と優先順位 ②検定統括者を決定した ③各検定チーム作成及び指導システムの確立(申し込みから結果/反省までの流れ)を30年度に整備する。

今後、「ヘアケアマイスター」を重要検定に位置付け、全教員が資格取得するよう奨励する。

i~kについては、平成30年度のカリキュラムで選択専門で検定コースを設けた。

#### (4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
a 就職率の向上が図られているか	4 (3) 2 1
b 資格取得率の向上が図られているか	4 (3) 2 1
c 退学率の低減が図られているか	4 (3) 2 1
d 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 (3) 2 1
e 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 3 (2) 1

<現状>

a~c: 資格取得(国家試験)の向上、退学率の低減の仕組みはできており成果も出してきたが、就職率に関しては、ミスマッチの指導ができていなかった。

d, e: 平成28年度に続き、本年度も卒業生会を開催し、卒業生の動向の把握はできたが、教育活動改善のための活用には至っていない。

<課題、今後の方策、特記事項>

・問題発見・学生対応のスピード、学生・保護者との人間関係の構築など、担任力の強化については学年主任を中心に今後も継続する。

・卒業生の活躍や評価、教育活動の改善のための活用や情報共有をするため、就職担当主導でアンケートを取り一覧表など記録を残すこととなっていたがチェックができていない。また、情報を掴めた者の職員会議での報告ができていない。

#### (5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
a 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	(4) 3 2 1
b 学生相談に関する体制は整備されているか	(4) 3 2 1
c 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	(4) 3 2 1
d 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	(4) 3 2 1
e 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 (3) 2 1
f 学生の学内生活環境への支援は行われているか	(4) 3 2 1
g 保護者と適切に連携しているか	(4) 3 2 1
h 卒業生への支援体制はあるか	(4) 3 2 1

i 在校生への留学支援体制はあるか	④ 3 2 1
-------------------	---------

<現状>

- a: 就職担当を中心に各担任が行うよう整備している。
- b: 基本、担任・学年主任が中心に行うが、必要であれば学校全体で対応するよう整備している。
- c: 経済支援奨学金を整備している。
- d: 各クラス担任が学校日誌に記録をし、メールなどで教職員全員に情報を開示している。
- e: 業界団体や業界紙・メーカー・ディーラーの支援のもと取り組みを行っている。
- g: 学級新聞を作成し、成績票と同時に保護者に送付している。
- h: 求人紹介・資格取得(国試再受験支援)・就職相談・個別相談などを行っている。
- i: 仕組み(就職関係企業の留学制度紹介)はあるが平成29年度は該当者がいなかった。

<課題、今後の方策、特記事項>

- ・近隣姉妹校と連携し、カウンセラーや養護教員などの体制も整える必要があるが手つかずである。
- ・校内での課外授業は時間的な制約などがあるため、平成29年度からクリエイティブワークを実施。平成30年度も現在5サロンが協力予定。
- ・仕組みの運用やチェックなどは、教員の能力によりバラつきがある。

### (6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
a 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 ③ 2 1
b 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
c 防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

<現状>

- a: 手洗い場の数が不足している。
- b: 体系的に整備している。
- c: 災害時の学生分の備蓄食料や防災訓練を行っているが、災害時の複数日の備蓄食料などはストックがない。

<課題、今後の方策、特記事項>

- ・将来の授業内容を視野に、IT関連の教育備品が必要である。
- ・手洗い場の数が不足しており、平成30年度に給湯設備を備えた流し台の増設を予算化した。

### (7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

<現状>

- ・学生募集活動は愛知県専修学校各種学校連合会の規定に沿って適正に行っている。
- ・教育成果は学校案内、ホームページ、SNSを通じて正確に伝えている。
- ・高校や会場での業者企画のガイダンスにて在学生の状況を高校生に伝えている。
- ・高校教諭に対しては、直接高校訪問を行い卒業生の状況を報告している。
- ・学納金も適性であり、入学前の辞退者についても入学金を除き返金を行っている。

<課題、今後の毅然方策、特記事項>

- ・オープンキャンパス参加者や入学希望者の減少理由を検証し、職員会議において報告と改善策の提示を行った。
- ・授業内容の魅力が、より高校生に伝わるようオープンキャンパス内容を改善する必要がある。

- ・(当然のことなので上記2項目トル)
- ・美容志願者の減少と同種他校の強豪化に対して、新たな施策が必要。
- ・定員確保は前提とするが、学生の質の向上のため、単なるOPEN CAMPUS・志願者の増加は望まない。
- ・成果を挙げていたSNSの飽和状態に対して、インスタ映えする写真をアップするよう努めた。

## (8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

### <現状>

- ・予算執行、監査、及び財務の情報公開については、概ね適正になされている。
- ・支出の抑止については、予算を下回るよう執行している。

### <課題、今後の方策、特記事項>

- ・支出は予算内執行をしているが、収入は頭打ちであり、各事業を見直し支出の削減を要する。

## (9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
a 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
b 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1
c 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④ 3 2 1
d 自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

### <現状>

a～d: 専修学校設置基準や関係法令の遵守を徹底し、適正な運営をしている。個人情報については方針を学生ハンドブックに明記し周知しているが、誰でも持ち出せる環境にあるため、充分ではない。自己評価の実施と問題点の改善にも努めており、ホームページ上で公開している。

## (10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
a 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4 3 ② 1
b 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1
c 地域に対する公開講座等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

### <現状>

- a: 大学新聞社主催の教育関係者を対象とした進路アドバイザー検定の会場に校舎を提供している。
- b: 金山商店街の清掃とは別に校舎周辺の清掃活動や、エコキャップ運動など学生会主体で実施中である。
- c: 金山商店街の会員として地域貢献できる活動に参加している。また、学校祭(HALLOWEEN)に近隣住民や就職業者などを招待している。また、熱田イオン、名学院大とのコラボにも挑戦した。

<課題、今後の方策、特記事項>

・髪や肌のお手入れ講座など、教員の専門スキルを活かした講座を、平成29年度は学生サロンで実施した。また、学校関係者評価委員会で意見を求め、複数の項目を実現した。

**(11) 国際交流**

・現状、留学生の受け入れは行っていない。また、留学制度はあるものの参加者はいなかった。